令和７年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
福　祉	生活支援技術	４	２－１

１．学習の到達目標

・介護者像を理解させ、高齢者・障がい者の自立を支援させる目標で介護技術を通して信頼関係を築かせる
・授業を通して生徒の人権意識を高めるように努める

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	①介護の心構え ②生活と家事 ※快適な居住環境と整備介護 （ベッドメーキング・シーツ交換） ※整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 （衣類の着脱の介護、身体の清潔）	・介護の心構えを理解する ・介護者とは、どのような仕事を行うかを具体的に学ぶ ・介護者は、いかなる場面においても、生命、人格、尊厳が守られることを判断および行動の基本とし、自己決定を尊重し、常に温かな人間的配慮をもって対応することを理解する ・安全な介護技術の方法をマスターする
２学期	（清拭･部分清拭・陰部洗浄・洗髪口腔ケア・眼･耳･鼻･爪･のケア朝･夕の身だしなみのケア） ※移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護（トランスファー） ※食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護（食事の介護） 入浴、生活保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護（入浴介助） ≪施設実習４日間≫ ※睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護（バイタルチェックの方法） ※排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護（排泄･尿失禁の介護・おむつ交換）	・人間の生理的欲求を理解し、個人にあった援助方法を理解し、実施できる能力を養う ・実技などは指導者の手技の確認しやすい場所にて見学し理解する ・介護者の健康管理について、また職業病の予防知識を身につける ・記録・報告を的確に行う
３学期	※睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ※死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期 （看法・薬の飲ませ方・抑制帯の使用方法・死後の処置）	・睡眠の意義とメカニズムを理解し、安眠のための環境づくり及び介護方法をマスターする ・終末期ケアの意義と介護の役割を理解する

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	考査、提出物、授業態度等による

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	介護の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、看護・介護に携わる者の意義や役割を理解している	介護業務に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的･基本的な知識と技術を活用して適切に判断し創意工夫する能力を身に付けている	看護・介護に関する諸問題について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている

４．使用教科書・副教材

使用教科書	介護職員初任者研修テキスト１・２（中央法規）　社会福祉基礎（実教出版）
副　教　材	なし